



Corporate Identification Manual

はじめに

日本特殊塗料(以下「ニットク」)は、1929 (昭和4)年6月1日、航空機用塗料メーカーとして創業以来、「創意工夫」を社是に、卓越した独自の技術と製品をもって、お客様の要請と信頼にこたえ、社会に貢献してきました。現在では、航空機用塗料のほか、一般建築用塗料、防水材、そして自動車用防音材を製造するメーカーとして認知され、親しまれています。

このような“企業イメージ”を維持するため、ニットクは、創業50周年を機に、CI (Corporate Identification)を策定しています。Identificationとは、「同一性をもたせること」「確認」などの意味があり、CI活動とは、企業体(Corporate)の多岐にわたるイメージに統一感を与え、企業のもつ理念と実体を正しく表現し、伝達して、認識させようとする活動です。

ニットクの社是である「創意工夫」、企業理念を、シンボルや色により内外にイメージづけるとともに、このような視覚的なコミュニケーションを通じて、ニットクの存在や企業内容、スケール、ビジョンなどを広く知らせ、ニットクというブランドの確立・定着につなげていくことができます。

CI活動の第一歩は、企業ポリシーのビジュアルな表現のためのコーポレート・デザインの確立と、その適用方法設定、およびそのマニュアル化から始まります。ニットクという企業とその製品をユーザーや社員に正しく認識させるように進めていく、統制のとれたCI活動によって、統一された企業イメージが浸透し、製品に対する親しみと企業に対する信頼感が定着し、“ニットク”の企業像すなわちブランドを社会的に確立することができます。

CIシステムは、ベーシック・システムとアプリケーション・システムに大別できます。

「ベーシック・システム」とは、ベーシック・エレメントすなわちシンボルマーク、コーポレートカラー、専用書体、指定書体などの適用に関するシステムです。

「アプリケーション・システム」とは、「ベーシック・システム」にのっとり、容器、ラベル、包装、製品、部品、事務用品、看板、標識、車両、ユニフォーム、建物、設備、広報、広告などへのエレメントの適用法を定めたものです。これらは順次、制定するとともにマニュアル化して変質を防ぐとともに、いつでも、だれでも正しい適用が行なえるようにしなければなりません。

このCIシステムを、ニットクのアイデンティティとして、社員一人ひとり、さらには社会に認識してもらうための要素として正しく使用することが重要です。

本マニュアルでは、ニットクにかかわるすべての人が、ニットクのCIシステムを運用するための基本的なルールを示しています。

01. コーポレート・カラー

ニットの基本理念を色で表現したものが「ニット・ターコイズブルー (Turquoise Blue)」で、これをコーポレート・カラーとしています。色の標準値は、マンセル値8.0BG 4.6/10.2です。

コーポレート・カラーは、ニットの企業イメージを訴求する重要な要素で、社章をはじめ、コーポレート・シンボル、コーポレート・マークなどを表現する場合に使用します。

コーポレート・カラー (ニット・ターコイズブルー)

「ターコイズブルー」は、緑と青の中間色で、水色に近い青緑色です。ターコイズとはトルコ石のことで、「創造性」「自由」「探求心」という意味があります。



「ニット・ターコイズブルー」を実際に色指定する場合、マンセル値を標準とする色再現は困難が伴いますので、右の近似色を使用してください。

また、これ以外の分野で色指定が必要なときは、別途近似色を規定してください。

近似色

- 印刷基本色 (4色掛け合わせ)……………C100+Y40
- RGB値 (3原色)……………R0+G150+B155
- HTMLカラーコード……………#00969b

02.社章

社章は、社内連帯のシンボルとして、主として内に向かって用います。

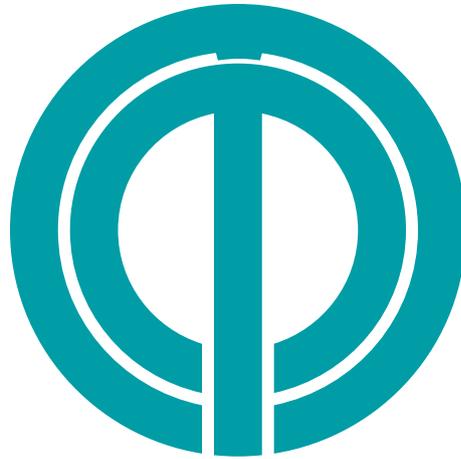
また、和文社名と組み合わせて使用することを原則とします。単独で使う例としては、バッジ、紋章などの用途があげられます。

社章の色は、コーポレート・シンボルの色の使い方に準じます。

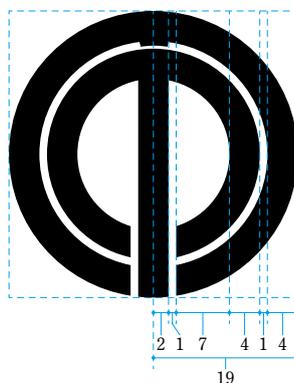
基本形

社章は、特殊(Tokusyu)と塗料(Toryo)の頭文字のTとTを組み合わせ、デザインしたものです。

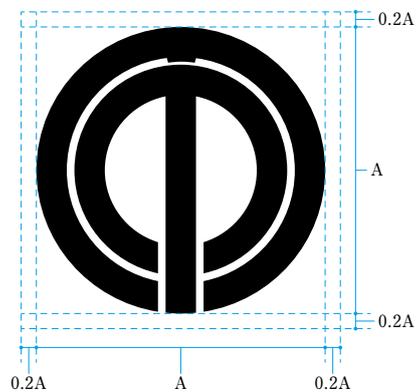
この「TTマーク」は、ニットク創立1年後に製品化された「T・T(テーテー)金属用塗料」以来、広く親しまれてきました。



寸法割り出し



余白スペース



最小使用サイズ



余白スペースは、社章周辺に設定する不可侵領域です。この範囲内に、社章以外の要素を表示することは避けてください。

使用最小サイズは、社章の視認性を確保するための最低限のサイズです。シンボルを単独で使用する場合は4mmとします。

03. 社名書体

ニットの社名書体は、和文と英文があります。

とくに和文社名は、オリジナルにデザインされたロゴタイプで、社章と組み合わせて使用することを原則とします。

社名書体の色は、コーポレート・シンボルの色の使い方に準じます。

基本形(和文横組)

日本特殊塗料株式会社

和文の社名書体は、丸ゴシック体をベースに開発された、オリジナルのロゴタイプです。字間の変更や、平体、長体、斜体化したり、曲線形に配置したりしないでください。

基本形(英文)

NIHON TOKUSHU TORYO CO.,LTD.

英文の社名書体はゴシック体を用い、原則としてヘルベチカ・ボールド (Helvetica Bold)、またはエイリアル (アリアル)・ボールド (Arial Bold) を使用します。

近似書体…… ●ヘルベチカ・ボールド (Helvetica Bold)
●エイリアル (アリアル)・ボールド (Arial Bold)

基本形(和文縦組)

日本特殊塗料株式会社

余白スペース



余白スペースは、社名ロゴタイプ周辺に設定する不可侵領域です。この範囲内に、社名ロゴタイプ以外の要素を表示することは避けてください。

最小使用サイズ



使用最小サイズは、和文書体は左右20mm、英文書体は25mmとします。

04.社章と和文社名

社章と和文社名は、それぞれ組み合わせて使用することを原則とします。その場合、組み合わせ比率が決まっています。

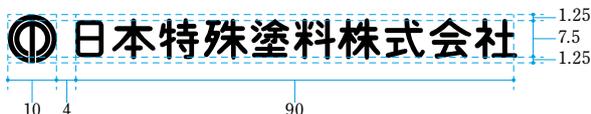
基本形(社章+和文社名)

日本特殊塗料株式会社

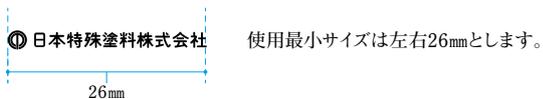
社章と和文社名を組み合わせる場合は、原則として社章にコーポレート・カラー、和文社名は黒を使用します。
 色は、可能な限りそれぞれに準じたものを使用します。ただし、背景の色や印刷色数の制限などにより、コーポレート・カラーが使えない場合や、視覚的に効果的だと思われる場合は黒、あるいは白(白ヌキ)、ゴールド、シルバーを使用します。


日本特殊塗料株式会社

寸法割り出し



最小使用サイズ



05. トレードマークとコーポレート・シンボル

トレードマーク（ウイングマーク）とコーポレート・シンボルは、ニットクの企業イメージのシンボルとして、主として外に向かって用います。

トレードマークとコーポレート・シンボルは組み合わせて使用することを原則とします。トレードマークを単独で使う例としては、社旗などの用途があげられます。

CI活動の原点に位置し、すべてはこの組み合わせから展開されます。

トレードマーク

コーポレート・シンボル

トレードマークは、鳥の飛ぶ姿をもとに、翼、飛翔をイメージさせる形をデザイン化したものです。このことから、「ウイングマーク」と呼ばれるようになりました。

コーポレート・シンボルは、日本特殊塗料の愛称として親しまれている「ニットク」をアルファベット表記し、デザイン化したものです。

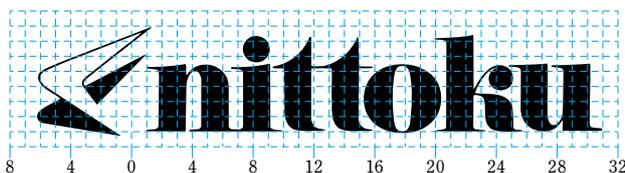


nittoku

基本形（トレードマーク+コーポレート・シンボル）



寸法割り出し



最小使用サイズ



使用最小サイズは左右20mmとします。

トレードマークとコーポレート・シンボルの色



コーポレート・カラー



黒



白ヌキ

トレードマークとコーポレート・シンボルの色は、可能な限りコーポレート・カラーを使用します。背景の色や印刷色数の制限などにより、コーポレート・カラーが使えない場合や、視覚的に効果的だと思われる場合は黒、あるいは白（白ヌキ）、ゴールド、シルバーを使用します。

また、トレードマークとコーポレート・シンボルの色は同一のものとし、異なる色で組み合わせての使用はしません。

06. 組み合わせの例①

「トレードマーク+コーポレート・シンボル」と和文社名を組み合わせる場合は、そのバランスが設定されています。

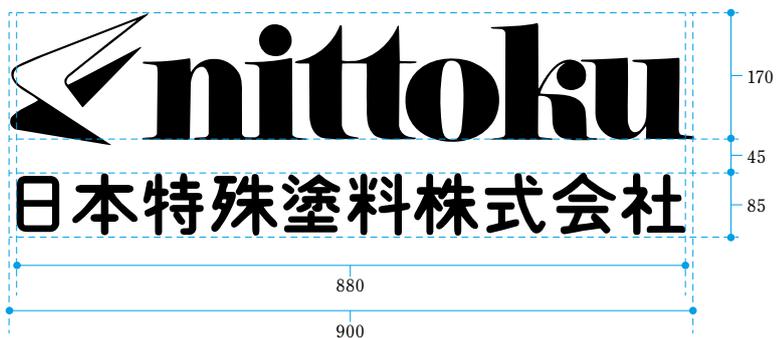
また、その4者、あるいは3者を同一面上に表記する場合のルールも設けています。

基本形(トレードマーク+コーポレート・シンボル+和文社名)



「トレードマーク+コーポレート・シンボル」と和文社名を組み合わせる場合は、原則として社章は使用しません。色は、可能な限りそれぞれに準じたものを使用します。ただし、背景の色や印刷色数の制限などにより、コーポレート・カラーが使えない場合や、視覚的に効果的だと思われる場合は黒、あるいは白(白ヌキ)、ゴールド、シルバーを使用します。

寸法割り出し



同一面上に配置する場合



製品カタログの表紙など、「トレードマーク+コーポレート・シンボル」と「社章+和文社名」を離して配置する場合は、原則として「トレードマーク+コーポレート・シンボル」を上方に、「社章+和文社名」を下方に配置します。色の使用は基本形に準じます。

07. 組み合わせの例②

「トレードマーク+コーポレート・シンボル」は、和文社名だけでなく、用途によって英文社名を組み合わせる場合もあり、その書体や比率も設定されています。

基本形(トレードマーク+コーポレート・シンボル+英文社名)



「トレードマーク+コーポレート・シンボル」と英文社名を組み合わせる場合は、原則として社章や和文社名は使用しません。

英文書体は、英文書体の近似書体に、色は、「トレードマーク+コーポレート・シンボル」と和文社名を組み合わせる場合に準じます。

寸法割り出し



同一面上に配置する場合



英文カタログの表紙など、「トレードマーク+コーポレート・シンボル」と「英文社名」を離して配置する場合は、「和文社名」との配置同様、原則として「トレードマーク+コーポレート・シンボル」を上方に、「英文社名」を下方に配置します。
色の使用は基本形に準じます。

08. 組み合わせの例③

「トレードマーク+コーポレート・シンボル」は、社名だけでなく、用途によって部署名を組み合わせる場合もあり、その書体や比率も設定されています。

基本形(トレードマーク+コーポレート・シンボル+部署名)



「トレードマーク+コーポレート・シンボル」と部署名を組み合わせる場合は、部署名を中央に配置します。色は、「トレードマーク+コーポレート・シンボル」と和文社名を組み合わせる場合に準じます。書体は、下記の近似書体を使用してください。

- 近似書体……●新丸ゴシック体 DemiBold
●HG丸ゴシックM-PRO

寸法割り出し



組み合わせ例



部署名は文字間隔をあけずに左右中央に配置することを原則とします。ただし、文字数や用途によっては、バランスをとるために、文字間隔をあける場合もあります。その場合、文字間隔は全角以上はあげないようにしてください。また、左右は「トレードマーク+コーポレート・シンボル」の幅からはみ出すことのないようにしてください。

09. 使用禁止例

社章と和文社名、コーポレート・シンボルとトレードマーク（ウイングマーク）、またその組み合わせは、正しく使用することにより、効果が最大限に発揮され、企業イメージを伝達できます。

誤った表示をした場合は、視認性を低下させるばかりか、統一性を損ない、企業のイメージダウンを招きます。

下記の例のような使用は絶対に避けてください。

変形



縦横の比率を変えるような変形はしないでください。

色の変更



指定した色以外での表示はしないでください。

位置やサイズの変更



位置や大きさを変えて配置しないでください。

組み合わせの変更



指定以外の組み合わせの表示はしないでください。

帯状や傾斜配置



配置の角度を変えて表示しないでください。

グラフィック効果



影をつけたりアウトライン化などの処理はしないでください。

図形や文字の追加



記号や文字を追加・一体化して表示しないでください。

線で囲む



線に囲んで使用しないでください。

視認性の悪い背景①



識別しにくい図やパターンの上には表示しないでください。

視認性の悪い背景②



同系色の背景の上には表示しないでください。背景が濃い色の場合は、原則として白抜きで使用してください。